

四旬節第5週 聖餐礼拝

2019年4月7日 第一礼拝(午前8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
聖餐の招詞	司会者	
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	一同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」(新聖歌921頁)	一同
祈禱	司会者	
分餐	(新聖歌53)	一同
感謝の賛美	新聖歌298「主に任せよ」	一同
聖書朗読	『詩篇』133、134篇(旧約1041頁)	司会者
黙想	一同
説教	「見よ、善きかな、楽しきかな」	近伸之牧師
※応答の賛美	新聖歌443「悩む者よ 疾く立ちて」	一同
感謝の献金	(新聖歌58)	一同
感謝祈禱	長谷川睦子姉	
諸報告	司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こそぞりて」	一同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)
(機械演奏の場合、楽譜にない表現をする事もあります)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	聖餐準備：片山 健司兄 配餐：片山 健司兄
司集	会：近伸之牧師 会：渡邊 智子姉 小林 洋子姉	音響・映像：片山 浩司兄、山岸あけみ姉 聖餐の配餐：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：近伸之牧師 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

1. 家族が一緒に集まって食事をする姿は、日本人にとっては共通の原風景。しかしイスラエルでは、犠牲を払って手に入れる、稀有なものだった。イエス・キリストは、まさにその犠牲として十字架にかかられた。
2. カナンが半年も雨が降らないのに「乳と蜜の流れる地」と呼ばれるのは、夕暮れにヘルモン山系から降りる露のおかげ。キリストの臨在そして霊の一致は、この露のように人智を超えた、神の恵みのみわざ。
3. 「さあ、主をほめたたえよ」(134:1)は、会衆から祭司・レビ人に対して呼びかけられたもの。そして祭司らは「主がシオンからあなたを祝福されるように」と、人々を家庭・故郷へと送り出した。そこには、祭司や会衆という違いに関わらず、礼拝によってまった一つの家族とされた(133:1)神の民の姿がある。

今週の暗唱聖句

「わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました」

(『ルカの福音書』22章32節)

[敬和学園の学生用] 牧師のサイン欄 ()

個人、団体からの来信

2019年4月7日

教団より定期便/
村上福音キリスト教会より、領収書

先週の集会出席者数

3/31(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性- 幼児女子1 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計2 成人女性1
	第一礼拝	男2 女3 4/1(月) 書道教室 男2 女6(求2、祈詩さんも参加)
	歓迎礼拝(子ども)	男12 女19 4/1(月) 月曜家庭集会 (休会)
	夕拝	男2 女児5 4/3(水) パルナバ祈禱会 男5(求1) 女6
		4/5(金) シャベリ場夕ビタ 男- 女3
		4/5(金) 金曜祈禱会 男- 女2

諸集会のご案内

書道教室	※月に一回、書道教室を開催	
月曜家庭集会	4/8(月)午後8:00	山崎岩雄兄宅
ネヘミヤ祈禱会	4/10(水)午後7:30	『詩篇』138篇 司会：横堀 信子姉
しゃべり場夕ビタ	4/12(金)午後1:30	渡邊智子姉宅 問合せ先：小山 千春姉
金曜祈禱会	4/12(金)午後8:00	教会堂 4月は茶道準備もします

4/14(日) 四旬節(レント)第6週(受難節)

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉
教会学校 午前9:00	担当：佐藤 繁実兄	
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 勝三兄 集会：小林 洋子姉 小山 千春姉	音響・映像：山崎 敬典兄 感謝祈禱：森田 澄子姉 説教の録画：近伸之牧師 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	4/7[近牧師] 4/14[佐藤兄] 4/21[片山姉] 4/28[近牧師]	
掃除当番順	4/7[猪爪姉] 4/14[初子姉] 4/21[小林姉] 4/28[小山姉]	
主日の予定	第二礼拝にて、役員就任式・CS教師任命式・進級式。午後は茶道練習など 長岡福音キリスト教会献堂式 14:00～ ランチオン聖歌隊練習 16:00～ 新潟福音教会	
(夕拝は休会)		

報告

1. 本日の予定
聖餐礼拝の恵みを感謝いたします。いただいたみことばと恵みを心の内に刻みつけましょう。礼拝後は昼食をいただき、CS教師会や定例役員会を持ちます。
2. 次週行われる諸式について
諸集会のご案内にもあります通り、次週第二礼拝において、役員就任式、CS教師任命式、そして子どもたちの進級式を執り行います。ひとり一人が祈りつつ備えましょう。
3. 先週の来会者
3月31日(日)午後におこなったCSお楽しみ会に、遠藤時子さん、さなちゃん(2歳)が参加されました。
- 4.

0・ヘンリーといいましたら、アメリカの短編小説の草分けですが、彼の作品に「赤い酋長の身代金」というのがあります。身代金などといいますと穏やかではありませんが、この「赤い酋長の身代金」というのは、それこそ抱腹絶倒、おかしくて、おかしくて、ほんとに、おなかの皮がよじれるような物語なんです。こんな物語です。

ある二人の男が、身代金目当てで、子どもの誘拐を企てました。その誘拐したのが、こともあろうに、赤い酋長こと、親も手こずる大変なはずら小僧。二人の誘拐男は、インディアンごっこの相手をさせられたり、頭の皮をはぐぞ、火あぶりにするぞ、とおどかされ、石を投げつけられ、ひっかかれ、いやはやさんざんな目にあうというわけです。

でも誘拐した以上は、親元へ身代金をよこせ、と脅迫状は出してみた。ところが親の方は、あんなはずら坊主はいらないから、そっちであずかってくれ、と言う。もしどうしてもと言うなら、身代金を払ってくれば引き取ってもいい、と親は言う。誘拐犯は、冗談じゃない、身代金をもらいたいのはこっちのほうで、誘拐犯のほうで身代金を払ったなどとは聞いたことがない、とは思いつつも、この坊主と一緒にいた日には、寿命も縮まるし、気が変になる、というわけで、親の要求を呑んで身代金を支払い、嫌がる赤い酋長をむりやり親元へ返して、ほうほうのていで逃

げ去る、というお話です。

こういう笑い話になりますと、「誘拐」とか“身代金”とかいう、ふだんゾツとするような言葉も違って響きますが、聖書によれば、じつは私たちも、身代金ならぬ、代価、代金によって買い取られた存在なのだ、というのです。「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです」(第一コリント6:20)とあるのがそれです。

では私たちが、お金を払って買い取られたのだ、とは一体どういうことなのでしょう。聖書の教えによれば、私たちが、罪という借金を、生まれながらにして持ってきているのだ、というのです。そして、この罪という借金は、借金であるがゆえに返済しなければならぬのだ、というのです。

では、私たちの、もって生まれた罪という借金は、どうしたら支払い完了となるのか、ということですが、それこそ、他ならぬ、イエス・キリストが十字架上で死んでくださったことなのだ、というのです。私たちは、「銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血」(第一ペテロ1:18、19)によって贖い出されたのだ、私たちの罪という借金の支払いは完了しているのだということです。あなたがこれを信じるならば、です。



それはまたシオンの山々におりるヘルモンの露にも似ている。
【主】がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。
(詩篇133:3)

ヘルモン山(シャイフ山、標高2814m)はイスラエルの北限にそびえ、万年雪に覆われている。この頂と渓谷から生じる水滴は、太陽光線に薄められて周囲の大気を湿らせた後、重い露となって周囲に横たわる山々と低地の上を潤してゆく。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



4/13(土)

※マスターズゴルフ中継のため放送休止

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN. ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

